

かながわ

看護連盟通信

No.
60

Kanagawa
Nursing league Letter

発行：平成26年1月31日



新年の ごあいさつ



神奈川県看護連盟会長 奥本 信子

看護連盟会員の皆様 新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、心新たに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、皆様が熱く燃えた年でした。国政に、男性の石田昌宏氏が加わり、看護職として力強く感じております。
現在、国会において衆議院では阿部俊子議員、参議院は高階恵美子議員と石田昌宏議員が活躍しています。3人の活動は神奈川県看護連盟のホームページでリンクできますのでご覧ください。

今年は、通常国会において看護制度の法案提出が予定され、看護制度の変革の年となることと思います。
看護連盟は、看護が魅力ある職業であり続けられるための看護政策の実現に向け、また誰もが安心して暮らせる社会の構築を目指し、看護の立場から活動して参ります。

神奈川県で働く72,000人の看護職の一人ひとりの力を結集し、看護の社会的地位の確立や看護の質の向上、役割拡大にむけて、一層のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



日本看護連盟会長
草間 朋子

謹んで新春のお慶び申し上げます。
昨年は、石田昌宏参議院議員が

誕生し、看護職では初めての男性議員として、フレッシュな感覚で頑張っておられます。阿部俊子議員、高階恵美子議員も、それぞれ、要職のポジションを得ることができ、看護政策に関することはもとより、幅広い領域の活動を展開し、「看護の代表ここにあり」と存在感がありうれしいことです。

看護界が抱えている様々な問題を、看護職が自らの力で自律的に解決していくために会員のみならずと一丸となって、連盟を、社会を動かすことができる「力強い組織」として発展・進化することを目指して、全力投球してまいります。

ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



公益社団法人
神奈川県看護協会会長
篠原 弘子

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、気持ちも新たに、2014年の新春をお迎えのことと存じます。神奈川県看護連盟の皆様には、旧年中のご厚情を感謝しますとともに、本年も引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

昨年は、看護職の代表が新たに誕生した年でした。私達にとりましても、看護職が一丸となり目標に向かって進むことの重要性を、改めて痛感した年でもあったと思います。

社会保障分野は、今、大きな転換期を迎えようとしています。

今後とも、目標や方向性を共有しつつ、職能団体として一体感のある活動を通して、県民の健康と福祉に貢献して参りたいと思います。



参議院議員 たかがい 恵美子

神奈川県看護連盟の皆様へ、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

第二次安倍政権の誕生から12ヶ月間、政策の重点は財政再建と経済活性化、そして新たな成長戦略の発信へ注がれて参りました。いわば我が国が将来、真に健やかな成熟社会へ飛躍していくための基盤整備が行われたわけです。これからは、国民のいのちと暮らしの安全・安心を安定的に保証するための社会保障制度体系全般にかかる諸々の大改革を進める段階に入ります。

社会保障を実現する最大規模のプロ集団として、いよいよ看護職が現場の声を政策へ届ける時がやって参ります。私こと、高階恵美子も看護職の一人として、これまで着々と進めてきた地道な努力の積み重ねを、今年も国会の場で政策としてひとつでも多く目に見える形で実現させていくべく、微力を投じて参ります。

皆様にとりまして、幸多く伸びやかな繁栄の年となりますことを心より祈念いたします。



参議院議員
石田 昌宏

神奈川県看護連盟の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年7月に行われました参議院選挙において、皆様からの熱い思いに支えられ、初当選を果たすことができました。重い役割を自覚し、頑張っております。

今年は、通常国会において引き続き社会保障制度改革の議論が進められ、医療制度、介護保険制度等の具体的な内容の検討に入ります。現場の意見を盛り込んだ法案整備に向けて力を尽くしてゆきます。

私たち看護職がそれぞれの力を発揮“いい看護をした!”と実感できるよう、現場の声を、国政に反映してゆきたいと思っております。この大きな転換期に、皆様とともに手を携え歩んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



衆議院議員
あべ 俊子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

神奈川県看護連盟の皆様には日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は全国の看護連盟の皆様のお力添えのおかげさまで、国政で頑張る同志が増えた意義深く喜ばしい年となりました。また私自身も、9ヶ月間にわたり外務大臣政務官を拝命し、内閣の一員として務めさせて頂けた学びの多い年でした。

新しい年を迎え、超高齢社会にもまた一歩近づきました。私が政治の道を志した原点である「安心できる社会保障制度の確立」への思いを胸に、看護界が抱える諸課題の解決に向けて、引き続き日々前向きに取り組んでまいります。神奈川県看護連盟の皆様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

感染制御の基本について

～「標準予防策」「感染経路別予防策」～

聖マリアンナ医科大学東横病院 医療安全管理室
感染管理認定看護師 アニン 祥子



皆様お元気で新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

冬はインフルエンザや感染性胃腸炎の流行期です。感染対策は施設全体で行わなければ根本的な感染防止にはなりません。

感染制御の基本は「標準予防策（スタンダードプリコーション）」と「感染経路別予防策」と言われ、標準予防策の原則は「汗を除く全ての血液・体液・分泌物・排泄物、創のある皮膚・粘膜からは感染する可能性がある」という考え方です。

そこで手指衛生のタイミングや手技、個人防護具（マスク等）を正しく装着しなければなりません。

また「感染経路別予防策」は標準予防策に付加して感染性の強いと考えられる患者に対し行う「接触」「空気」「飛沫」の予防策があります。

いずれも知識の学習と技術訓練がポイントで、施設内の職種の特徴を踏まえた研修等で取得することが重要です。

感染対策委員会、インфекションコントロールチーム（ICT）等は、施設内の感染防止が適切か、感染症発生状況に応じ対策が取れているか等ラウンドして、必要時改善を促す活動を行い、感染拡大防止の役割を今年も担っていきます。



経路別予防策の対応が院内で共有できるように
絵入りのカードで表示

手指の衛生の
タイミング

マスク等の装着



看護助手さん対象に模擬吐物を使用した
感染性胃腸炎の処理方法を練習しました

One-day event of a certain visit nurse

ある訪問看護師の 一日の出来事



ばらまかれた黒い粒は何？

訪問看護師の佐々木さんは、田中さん宅へ初回訪問に向かった。田中さんは大腸がんで人工肛門を造設した。退院後、田中さんも、奥さんも人工肛門のケアができないので入浴介助とそのケアの依頼だった。

「ごめん下さい。佐々木です。」

中から上品なご婦人がスリッパをはいてゆっくりでできた。ロングスカートをはいていた。

玄関から座敷へ案内される。「ギシギシ」黒いそば殻のようなものが一面にちらばっていた。

スリッパで踏むと廊下でも「ギシギシ」音がした。なんだろう。

田中さんと会話し、処置をして帰った。

次の朝、訪問看護ステーションの管理者に福祉用具事業所から電話がはいった。「無事に福祉用具を搬入いたしました。ただ玄関からベッドが入らなくて窓からベッドを入れたんですが、窓の敷居に4匹ネズミが干からびて死んでいました。」

あれはネズミの糞？ だった？。
奥さんは認知症だった。

犬にかまれた佐藤さん

青天の霹靂とはこの事か。秋の忙しい日だった。訪問看護師の佐藤さんは、朝から車を運転し石井さん宅についたときは、午後になっていた。

今日4件目の訪問であった。

疲れていたが、元気よく「こんにちは、佐藤です。お邪魔します。」

「どうぞ」の声に、玄関から居間に入っていった。

と、突然、足早にお嫁さんが出てきて台所につながっているドアを指して言った。

「このドアは、開けないでください。」

えっ、そのドアの向こうに台所があり、いつも体を拭くお湯を頂いているのに、今日はなぜなの。今日は奥さん居ないのかしらと内思いながらご主人のバイタルチェックをしていた。

バイタルチェックが終わり、思わず、いつもの調子で、そのドアを開けてしまった。

大型犬が飛び出てきた。

佐藤さんの足に「ガブリ」かみついた。佐藤さんの足から血が出てきた。

佐藤さんは突然の出来事に「エッ犬がいたの」と驚いた。

あわてていると奥からお嫁さんが出て来た。

「『その扉は開けないで』って言ったのに…。」

「狂犬病の注射はしていますか。」

「注射はしていません。」

佐藤さんは管理者に電話をした。

すぐにワクチンを打つことになった。

ワクチンの支払いは後日家族との話し合いで事業所が持つことになった。

開けたらいけないといわれた扉を開けたのは訪問看護師だったが…。

※氏名は全て仮名である。(S・Y)



平成25年度 都道府県別会議 in 神奈川報告

幹事長 山内 精子

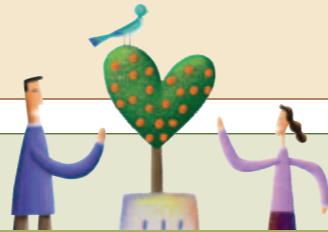
都道府県別会議は、日本看護連盟 阿津公子幹事長を迎え、神奈川県看護連盟本部役員15名、支部役員16名が出席し、平成25年10月8日(火)横浜国際ホテルにて開催された。

会議は、第23回参議院議員選挙総括として、これまでの選挙活動とその結果や評価をそれぞれの立場で報告し、その後議論がなされた。

まず初めに、阿津幹事長から石田まさひろ政策研究会は、入会者総数537,029人を集め、選挙で201,109票を獲得し、自民党内11位(新人では4位・個人得票数では22位)で当選したことが報告された。当初の獲得目標数25万票には届かなかったことは反省点であるが、会員の意識調査等を考察し、丁寧な検証を今後も続け、3年後の看護の議席確保に向けて力強く活動を開始すると述べられた。

次に県看護連盟会長 奥本信子から神奈川県の選挙報告があり、石田まさひろ氏の獲得目標数は4,500票だったが、投票数は5,064票と上回り、22回参議院議員選挙と比べても1,514票多い票を獲得できた。後援会会員は6,192名(内県外が1,104名)であり、得票数から見ると確実な票であった。活動は選挙はがきや選挙ポスター配布、選挙カーの運行など各支部の協力の下に進めた。今回の活動を具体的に振り返り、今後は会員が肌で感じるような選挙を早めに計画していきたいと述べた。

最後に、各支部長から活動報告が具体的に報告され、3年後の選挙に向けて、今ある看護の議席を減らすことのないように活動を続けていくことを約束し会議は閉会した。



平成25年度 リーダーセミナー I・II

第I回 平成25年8月30日(金) 県総合医療会館

- 1 看護協会の取り組み 篠原看護協会会長
- 2 看護連盟の取り組み 奥本看護連盟会長
- 3 支部長等リーダーの役割 光谷横浜第1支部支部長
- 4 国政について 小此木衆議院議員
- 5 選挙について 小島勇人川崎市選挙管理アドバイザー

第II回 平成25年10月8日(火) 横浜国際ホテル

- 1 看護政策の実現に向けて 阿津日本看護連盟幹事長
- 2 ワークショップ「現場の声を政策にどうつなげる」

平成25年度のリーダーセミナーは8月30日と10月8日に行われ、計103名の参加者がありました。

第I回は、衆議院議員の小此木八郎氏や川崎市選挙管理アドバイザーの小島勇人氏を含め5名の講師による盛り

だくさんの内容でした。セミナーの最後には石田まさひろ参議院議員が挨拶に訪れました。参加者のアンケートでは「選挙について、コンプライアンス等が分かりやすかった」「看護連盟の活動内容が理解できてよかった」「現職の議員から話が聞け良かった」等の声がありました。

第II回は、「リーダーが現場の声を看護政策として実現させる過程を学び、看護連盟の活動を理解する」を目的に、阿津公子氏の講演とワークショップでした。

参加者からは「他支部の方と一緒にグループワークは情報交換もできてよかった」「他支部の活動状況や施設の現状や不満が分かった」「現場の声を政治に届けるにはどうしたらよいか理解できた」等の感想がありました。

阿津氏の講演を通して、日本看護連盟の動きを知る良い機会となりました。



国会見学

横浜総合病院 福蘭 順子

10月25日金曜日、台風27号が押し寄せてきている最中、小雨程度の天候で、横浜駅前を2台のバスで出発しました。国会は初めての見学であり、外壁は石造り、内壁は日本の大理石と木材を使い、建築のすばらしさを堪能させて頂きました。選挙の時に顔を拝見した神奈川県内選出の国会議員の方たちからのお話を頂き、私は国会見学というと建物の中を見学することと短絡的な発想だけを持っておりましたが、実は奥が深くこの見学は、1看護師が政策に触れる瞬間であると実感しました。それはとても貴重な体験でした。看護の政策をいかに取り上げてもらえるか、看護連盟ではバットサイドから日本を変えようと言っています。

す。実際、看護の現場では、来年の診療報酬改定問題で、看護必要度・重症度は?在院日数は?頭の痛い問題がいっぱいある中で、お年寄りが増えてくると、合併症や転倒・転落など、安全面でのリスクが増え、また、より質を問われ、日々緊張した状態で仕事をしているということが看護師の本音だと思います。さらに、私達は、記録物が増え、ベッドサイドへいく時間が少なくなっています。そんな中で、看護師の労働環境・教育を充実するためにも、いつも私は部長に政治に関心を持つよう言われています。看護師一人一人の力は小さくても、私達の声は必ず看護連盟を通して政界に届くと言うことの雰囲気を知るためにも、政治を身近に感じ、楽しく、非常に意義のある見学でした。

国会見学アンケート 参加者72名(回答者57名)

- 議員の話や聞くとは思わなかった。良い機会となった。
- 国会に興味を持った、選挙に参加し社会に関心を持つ。
- 議員の生の声が聞け、議員の思いが伝わった。
- 連盟の存在の大切さを実感した。
- 国会議事堂の重厚さに圧倒された。
- 看護と政治の関係や具体的な活動が知れた。
- 看護連盟と協会の違いが分かった。国政に出ないと看護職の地位が向上しないというのが理解できた。



新年お年玉クイズ

神奈川県看護連盟では連盟通信を初めてリニューアルしました。

その記念として新年お年玉クイズを掲載いたしました。

クイズの正解者には厳正なる抽選のもとで応募者の中から10名の方に千円の図書カードを差し上げます。

なお、クイズの回答と共に連盟通信に掲載する記事やご意見、要望をご記入下さい。

1. 現在日本看護連盟では何名の方を国政の場に送り出していますか。

- ①参議院議員 石田まさひろ・高階 恵美子 衆議院議員 あべ俊子議員の3名
- ②参議院議員 石田まさひろ・高階 恵美子の2名

2. かくや姫はどこから生まれたのでしょうか。

- ①松の木 ②竹 ③梅の木

3. 桃太郎が鬼退治に行く時、腰につけていたものはなんのでしょうか。

- ①笹団子 ②みたらし団子 ③キビ団子

応募方法

(表)	〒231-0037 神奈川県横浜市中区富士見町3-1 神奈川県総合医療会館6F 神奈川県看護連盟行	(裏)	回答 1.○ 2.○ 3.○ 自由意見 ○○○○○○ ○○○○○○ ○○○○○○
-----	--	-----	--

- 官制はがきに氏名・住所・正解番号を記載してください。
- 下記の住所にお送りください。
〒231-0037 横浜市中区富士見町3-1
神奈川県総合医療会館6F
神奈川県看護連盟行
- 締め切り 平成26年2月28日 必着
- 当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

Filia フィーリア

羽毛ふとんの東洋羽毛

リフォーム・クリーニングなど
羽毛ふとんのことなら何でも
東洋羽毛にご相談下さい。

「フィーリア」は100%天然羽毛です。

TUK 東洋羽毛首都圏販売株式会社
横浜営業所 横浜市旭区今宿西町1952-1
http://www.toyoumo.co.jp 0120-00-7663

トータルサポート。

- 寝具設備・病衣レンタル
- ユニフォームのリース・販売
- オムツ(布・紙)レンタル
- クリーニング全般
- 介護用品のレンタル・販売
- 給食業務受託 等

株式会社 柴橋商会
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-11-5 SGビル
Tel.045-312-5700 http://www.shibahashi.co.jp

3月春の研修会のお知らせ



「たかがい恵美子」 活動報告

講師 参議院議員
高階 恵美子氏



医療安全トピックス —医療事故・訴訟等について—

講師 日本看護協会出版会損害補償部部长 兼
「看護職賠償責任保険制度」サービス推進室長
平林 明美氏

日時 平成26年3月1日(土)
13:30 ~ 16:30 (13:00より受付)

場所 神奈川県総合医療会館5階
(ナースセンター研修室)

対象者 看護連盟会員および看護職

募集人員 80名
(先着順。定員になり次第、
締切らせていただきます。)

参加費 無料

参加申込 お申込みが必要です。
(下記の申込み先までお問い合わせください。)

締切 平成26年2月14日(金)

申込み・問い合わせ先

神奈川県看護連盟 (事務局)

〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1 神奈川県総合医療会館6F
FAX (045) 263-2802 TEL (045) 263-2801

ホーム ページ
HP
について

日本看護連盟からの新着情報や各支部の研修会をいち早く掲載しています。日本看護連盟や、石田まさひろ、あべ俊子、たかがい恵美子議員にもアクセスできます。ご活用下さい。

また、ホームページの全面的リニューアルについて準備を進めています。会員の皆様のご意見やお知恵をお借りしたいと思っております。ご意見のある方は神奈川県看護連盟までご連絡下さい。

入会案内

平成26年度 看護連盟会員募集

一人でも多くの方の
入会により、現場の声を
国政に反映させましょう



正会員

年会費 **9,000円**
(7,000円)

看護協会会員である人
日本看護連盟 / 5,000円
神奈川県看護連盟 / 4,000円 (70歳以上の人は2,000円)

特別会員

年会費 **9,000円**
(7,000円)

正会員の経歴を有し、未就業で現在看護協会会員でない人
日本看護連盟 / 5,000円
神奈川県看護連盟 / 4,000円 (70歳以上の人は2,000円)

賛助会員

1 □ **1,000円**
※何口でも可

看護連盟の主旨に賛同する人 (看護職でなくても入会可)

学生会員

年会費 **無 料**

看護師又は准看護師の資格を得るために就学している看護学生で
看護連盟の主旨に賛同する人

お問い合わせ

事務局

TEL(045) 263-2801 FAX(045) 263-2802
e-mail:jimukyoku0@kanagawakangorenmei.jp

編

集

後

記

2013年もあっという間に終わり2014年になりました。

今年もよろしくお願ひします。

一年がたつのも年々早く感じ、社会情勢もめまぐるしく変化しているように感じます。

そのような中私たちも当事者として意識し、より良い社会になるように声を挙げていければと思います。

今年も良い年となりますように。(吉見剛志 記)

広報委員

小柳 正子 小形留美子
山内美智子 畠山 友子
川満 直美 中村 茂雄
吉見 剛志

表紙写真は中村茂雄委員撮影

